

令和3年度常任幹事会議事録

令和4年1月18日

旭川西高東京同窓会総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により第38回総会は中止とし、昨年4月開催予定であった第39回総会も延期として、今年4月23日の開催を計画してまいりました。昨年末には収束の兆しが見えていたので、執行部会を招集して総会開催の日程については常任幹事会に諮ることを話し合い、1月17日に常任幹事会を開催する旨の案内を致しました。しかし、変異したオミクロン株での感染が急激に拡大し、多くの幹事さんから欠席の連絡を受けましたが、幹事会を開催しました。メールやお葉書でのご意見を含め出席して頂いた幹事さんの意見と合わせて、総会開催の方針が決まりましたので報告いたします。

総会開催について 4月23日開催は延期とします。

4月の開催は、賛成9:反対15の結果を受け、参加者に10月への延期を計ったところ全員一致で延期開催が決まりました。

2. 延期の日程 10月8日(土曜日) 上野精養軒 12時から15時(予約済み)

※その時期の感染状況によりますが、現在の上野精養軒側の状況を参考に記します。

1. 全員着席 28テーブル(4人/テーブル) 100名程度可能(1/31までの制限) 4名を超える場合は、ワクチンの接種証明又は、陰性証明が必要
2. 全員着席・マスクの着用・体温測定・手指消毒等は必須
3. その場合の今後の予定 8月(第2回常任幹事会)案内状の配信
9月(第3回常任幹事会)参加人数御確認

3. すずらん塾開催について

1月28日(土曜日) 母校講堂とオンラインにより開催予定

講師は31期の山口耕司さんですが、旭川に行くとおっしゃってます。

しかし、コロナの影響で学校側が、どうしても生徒を1箇所に集められない事になった時は、リモートでの講演を考えるとの事です。

テーマは「宇宙に恋をした」宇宙開発や防災システムなどのお話しです。

4. 会計報告

令和2年度会計報告

会費収入が62,200円、総会開催中止により返却された残金が121,400円、
収入合計183,600円

支出は、「西高通信」の発行が無かったので、ウェブサイト維持費他
支出合計167,500円

例年、570件くらいの振り込みがあるのですが、「西高通信」を同封して会費の
お願いをしないと60件程度であった。

令和2年度旭川西高東京同窓会会計報告
(令和2年5月1日～令和3年4月30日)

令和3年11月27日

＜収入の部＞	実算	前年度実算	前年比%	
・前年度繰越金	2,634,262	2,901,219		
・年会費	62,200	457,000	13.61%	
(当日分)	(0)	(0)		
(振込分)	(62,200)	(457,000)		
・その他	121,418	0	-	
(總會剰余金)	(121,418)	(0)		第38回總會実行委員会会計剰余金
(雑収入)	(0)	(0)		
計	2,817,880	3,358,219		
＜支出の部＞				
・總會費	0	30,000	0.00%	
・西高通信他送料	0	165,408	0.00%	
・通信費	630	132,581	0.48%	前年度は、總會延期通知ハガキ1,667通105,021円を含む。
・印刷・事務用品費	0	45,356	0.00%	
・会議費	0	63,600	0.00%	
・ウェブサイト維持費	150,280	149,060	100.81%	ウェブサイト維持費、レンタルサーバー、ドメイン代
・慶弔費	0	20,000	0.00%	
・若年期対策費	0	100,000	0.00%	
・その他雑費	16,578	17,952	92.35%	ウェブサイト振込手数料、振替払出明細票通知料金等
計	167,468	723,957		
残高	2,650,412	2,634,262		

＜監査報告＞

報告は、証憑書類と照合・精査の結果、正確なことを確認いたしました。

旭川西高東京同窓会
監事 北澤 告一(17期)



すずらん塾 2022年1月28日 旭川西高 体育館で開催予定
新型コロナの感染状況でリモートにて開催する場合があります。

第8回 すずらん塾

宇宙の仕事はこんなにも面白い!

- 日時:2022年1月28日(金)13~15時
- 場所:旭川西高 体育館
- 講師:山口耕司



[略歴] 旭川西高(31期)・神奈川大学工学部機械工学科卒業、日産自動車でエンジン開発、富士通にてNASA地球観測衛星やNASDA(旧JAXA)の月探査衛星かぐや等の宇宙用観測機器の開発に従事、1998年有限会社オービタルエンジニアリング(横浜市)を設立し地球観測・科学衛星の観測装置、小型衛星の開発、航空宇宙用材料の開発に従事。近年では、最先端研究開発支援プログラム(FIRST)「日本発の「ほどよし信頼性工学」を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」副研究者兼サブプロジェクトリーダーとして第三回宇宙開発利用大賞(内閣総理大臣賞)を受賞。現在は、総務省の「衛星通信における量子符号技術の研究開発」プロジェクトで研究責任者を務め、JAXAの客員ともなっている。これら宇宙開発業務の他、IoTを用いた防災システムの開発・普及活動、大型ドローン開発等を進めている。



宇宙に恋をした。

後輩たちの、その先を見まもる

旭川西高東京同窓会

<http://www.anktd.com>

